

# これが 公民館報 第320号

## 会田中学校生徒が 四賀の未来を考える

### 四賀の世帯数・人口

世帯数	1,951	世帯
人口	4,489	人
男	2,172	人
女	2,317	人

(平成31年1月1日現在)

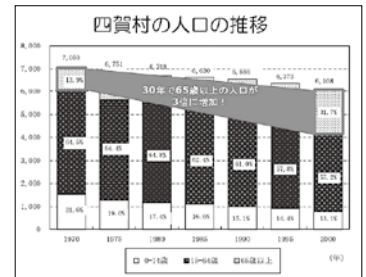
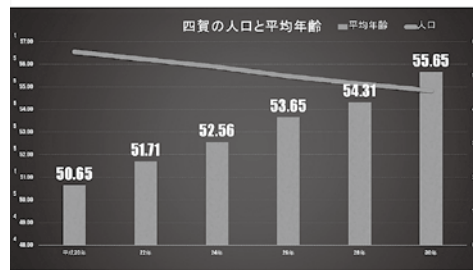
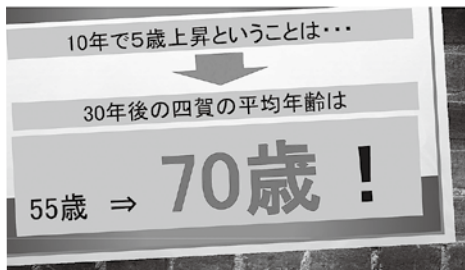
御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

会田中学校の3年生が今年度の総合的な学習の時間に「ふるさとを生きる・四賀の未来を考える」として学んできました。またその成果を、昨年の11月18日にピナスホールで開催された「生涯学習フェスティバル」で発表を行いました。中学生の考える未来とは、どんなものでしょう。

以下の ①四賀の未来予想図 ②魅力をPR ③未来に向けた提案の3視点から考えられています。

### ① 四賀の未来予想図

人口は、この30年で65歳以上が3倍にもなりました。平均年齢も2年で1歳づつ上がってきています。このままだと…



### ③ 未来に向けた提案

私たちは、取り壊された後の土地をどう利用するかいくつか考えてみました。

1つ目はサッカー場  
2つ目は殿村遺跡からの出土品を展示する博物館

遊具の例

- ターザンロープ
- ドリームコースター
- 長いすべり台
- ハイジのぶらんこ
- ジェットコースター
- 休憩所

統合前の小学校の建物を公共施設として活用できないかどうかが考えました。錦部小学校は、老朽化して取り壊しになるかもしれません。その後どうするか考えました。

### ② 魅力をPR

是非 四賀に来てください!

四賀のキャラクター

松本市立会田中学校 平成30年度3学年

四賀には、魅力的な場所や催しがたくさんあります。もっとPRしてこのことをポスターを作成しました。

その結果、中学生が提案する場所がここになりました。



### 理想の場所はどこでしょうか？

こんな場所を探しました

- ① 広い土地であること
- ② 平らな土地であること
- ③ 人が集まりやすい場所であること

利用できそうな四賀の土地

- 旧会田小学校跡地
- 山の急斜面
- 川のそば
- 空き地の利用

現在も農業などで使われている土地ですが、この条件に合っている理想的な場所ということで提案しました。

(写真資料はすべて中学生が作成したものです)

### 墨の香りもすがすがしく 書初め教室開催



正月恒例の書初め教室が一月四日に支所で開催されました。墨の香りが漂う会場の会議室には、午前と午後合わせて地元の小中学生二十名が参加し、講師の小峰眞佐子さんの指導のもと、真剣な面持ちで半紙に向かっていました。

「元日」「つよい心」「正月の朝」「強い信念」など学年ごとに決められた課題にそれぞれ取り組みました。力強く一気に書きあげる子やハネやハライに気をつけながら慎重に仕上げる子など、先生に朱を入れてもらいながら、思い通りに書けるまで何枚も挑戦しました。

学校の課題を仕上げた後に「市民タイムス書初め展」に応募する作品に取り掛かる子もいて、新年にふさわしい引き締まった雰囲気教室となりました。

参加者多数の

### しめ縄講習会

四賀地区子ども会育成会主催による恒例の「しめ縄講習会」が十一月九日にピナスホールで行われ、親子連れ三十二名にスタッフ役員あわせての約五十名が参加しました。しめ縄は場所によって様々な作り方飾り方があるようですが、四賀では主に松にしゃもじと通称されるしめ縄にお猪口を組み合わせ紙垂を付けるのが一般的です。講習会ではこのしゃもじとお猪口をわらで作りました。初めての参加で縄をなうのに苦労する親子も多かったようですが、経験者の指導でほとんどの子どもが形作れたようです。

今では買って飾る人が多くなりましたが、手作りのしめ縄で新年を祝うことも永く伝え、子ども達に引き継いでほしい大切な風習です。



### 人権推進協議会研修 重監房病資料館



人権推進の研修としてハンセン病の悲しい歴史を知るために群馬県草津市にある重監房病資料館を訪問した。館長さんの説明では、かつてハンセン病は伝染する不治の病と言われ、法によって人里離れた施設に強制的に送られ、退所規定がなく、収容されること一生涯出られなかった。家族と一緒に暮らすことや、実名を名乗ることもできない。頼る人も救いの手を差し伸べる人もなかった。今は特效薬があり治る病気になってきているが、長い間強いられてきた偏見や差別は残っている。

政策が廃止されて二十年経ても、入所する際に断絶させられた現実に戻すことが難しい。この研修で、ハンセン病に限らず、人権が尊重される社会のために、今の私たちは何をすべきかを考える大きな課題をいただいた。(寄稿)

### 新成人 おめでとう!



四賀地区対象者数  
(H10.4.25 H11.4.1生)  
男子17名 女子21名

### 平成最後の成人式

平成31年1月13日  
松本市総合体育館

四賀地区担当  
伊東 裕輔 保健師

### 四賀支所にいます!

- 2月 4日(日) 8:30 ~ 12:00
- 12日(火) 8:30 ~ 17:15
- 18日(日) 8:30 ~ 17:00
- 20日(水) 8:30 ~ 17:15
- 25日(日) 8:30 ~ 12:00

お気軽にご相談ください。

### 湧き水

▼ここ十年ほどで、随分とこの地域の活性が減退してしまっただろうか。地域の活性化を目指し、活動を続けている団体も存在しているが、主体となる住民個々の関心が薄いと感じる。少子高齢化や不景気、若手と言われる皆さんの忙しさなどからか。

▼かと言って自分自身を振り返ると、何にもできていない。流されている。そう感じてしまう。活性化を目指し、アイデアを発信し、行動に移して引つ張ってゆく能力も覚悟もないことに気づかされる。

▼よく「こんなアイデアで事業が成功し、雇用も生み出し、地域も活性化し」という話を耳にする。このような流れになるには何が必要なのか。

▼活性化には、アイデアを持つプロが必要と聞いたことがある。そんなプロなら住民では思いもつかない。四賀の自然や産物を利用した事業が考え出されるのではないか。

▼この地は穏やかで、自然にも恵まれている。ただ「時代」を考えると、このままではいけないのではと、そんな思いに駆られる。